

西洋比較演劇研究会 2025 年 11 月 29 日（第 243 回）例会のご案内

気が付けばあっという間に 11 月となりました。今回は書籍 2 点の合評会を行います。どうぞふるってご参加ください。

日時：2025 年 11 月 29 日（土）14:00 ～ 17:15

会場：成城大学 8 号館 2F・823 教室（オンライン併設：zoom リンクを前日までに送信）

プログラム：

(1) 合評会①（14:00～15:30）

森本頼子著『シェレメーチェフ家の農奴劇場 18 世紀ロシアのオペラ文化史』（道和書院、2024 年）

コメンテーター：森佳子

(2) 合評会②（15:45～17:15）

津崎正行訳『シラー戯曲傑作選 メアリー・ステュアート』（幻戯書房、2023 年）

コメンテーター：菅利恵

合評会内の進行は：

1. 執筆者から内容についての説明（30 分）
2. コメンテーターからのコメント・質問と応答（20 分）
3. フロアからのコメント・質問（40 分）

を予定しております。

書籍内容につきましては、以下の URL から各出版社の紹介ページをご覧ください：

『シェレメーチェフ家の農奴劇場 18 世紀ロシアのオペラ文化史』

（道和書院 HP）

<https://www.douwashoin.com/%e3%82%b7%e3%82%a7%e3%83%ac%e3%83%a1%e3%83%bc%e3%83%81%e3%82%a7%e3%83%95%e5%ae%b6%e3%81%ae%e8%be%b2%e5%a5%b4%e5%8a%87%e5%a0%b4/>

『シラー戯曲傑作選 メアリー・ステュアート』

（幻戯書房 HP）<https://genkishobou.stores.jp/items/64b7e1d80d04b90036232acc>

（note 掲載の記者解題）<https://note.com/genkishobou/n/nec58e38c6232>

〈登壇者プロフィール〉

森本頼子（もりもと よりこ）

博士（音楽）。専門は音楽学（西洋音楽史、ロシア音楽史、日本洋楽史）。名古屋音楽大学、金城学院大学、愛知県立芸術大学、各非常勤講師。早稲田大学総合研究機構オペラ／音楽劇研究所招聘研究員。著作に『シェレメーチェフ家の農奴劇場：18 世紀ロシアのオペラ文化史』（道和書院、2024 年、日本演劇学会第 57 回河竹賞奨励賞）、『音楽と越境：8 つの視点が拓く音楽研究の地平』（編著、音楽之友社、2022 年）等がある。

森佳子（もり よしこ）

早稲田大学ほか非常勤講師、博士（文学）。専門は音楽学。主な著書に『オフエンバックと大衆芸術-パリジャンが愛した夢幻オペレッタ』（早稲田大学出版部）、共編著に『演劇と音楽』（森話社）、『パリ・オペラ座とグランド・オペラ』（森話社）、『バロック・オペラとギリシア古典』（論創社）などがある。

津崎正行（つざき まさゆき）

近代ドイツ演劇を専攻。慶應義塾大学、東京理科大学、東京藝術大学非常勤講師。訳書にヨッヘン・ヘーリッシュ『メディアの歴史』（共訳、法政大学出版局、2017年）、ギュンター・ヘーグ『越境文化演劇』（共訳、三元社、2024年）など。ほかに上演のための翻訳として、ベルトルト・ブレヒト『ファッツァー』（2013年初演）、エルフリーデ・イエリネク『スポーツ劇』（2016年初演）、『騒音』（2023年初演）など。

菅利恵（すが りえ）

博士（人間・環境学）。専門はドイツ文学。京都大学人間・環境学研究科芸術文化講座教授。著書として『ドイツ市民悲劇とジェンダー—啓蒙時代の自己形成』（彩流社、2009年）『〈愛の時代〉のドイツ文学—レンツとシラー』（彩流社、2018年）『ドイツ語圏のコスモポリタニズム—「よそもの」たちの系譜』（編著）（共和国、2023）がある。